

第7回 三島市・裾野市・熱海市・長泉町・函南町

ごみ処理広域化検討協議会 議事録

1. 日時

令和8年8月19日(水) 午後2時00分～3時15分

2. 場所

富士山南東消防本部三島消防庁舎3階 消防センター

3. 出席者

三島市 鈴木副市長(会長)、裾野市 赤堀副市長、熱海市 吉徳副市長、
長泉町 高田副町長、函南町 藤間副町長

【市町担当者】

三島市(事務局)：臼井 環境市民部長、杉山 環境市民部参事(廃棄物対策課長)、
新井 課長補佐、橋本 主幹

裾野市：杉山 環境市民部長、志村 生活環境課長、杉山 係長

熱海市：三枝 市民生活部長、高瀬 環境課長、西村室長、野口主幹、木村副主任

長泉町：椎田 都市環境部長、杉山 暮らし環境課長、露木 副主幹

函南町：加藤 厚生部長、浅沼 環境衛生課長、二藤 課長補佐、梅原 係長

4. 報告事項

(1) 広域一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会結果報告

(事務局) ※資料1により説明

(熱海市副市長) P20の函南町候補地の第1次評価で、「4 地形地物の状況」の評価結果が「×」であることについて、もう少し詳しく説明してもらいたい。次に、P25の「まとめ」で評価が「△」であった1項目について示していただきたい。

(事務局) まず、「4 地形地物の状況」については、函南町候補地は二つの土地に分かれており、2haの面積は確保できるが、土地の間には町有地の道と東京電力の鉄塔があり、送電線路に関する地役権が設定されている土地も含まれている。また、高低差が70m以上あり、造成すると利用可能面積がかなり減少してしまう。確保できる平坦地は4,000～5,000 m²であり、建築にもかなり制限が掛かる可能性があるため、不整形地と判断し、選定基準に適合しないとした。P25の「△」と評価された項目については、熱海市候補地は、静岡県レッドデータブックに掲載されている34種の希少野生動植物の生息区域に含まれており、希少野生動植物が生息している可能性があるため、「△」と評価された。

(熱海市副市長) 施設を建設する際、鉄塔の電線の高さは影響してこないか。

(事務局) 季節によって電線が垂れ下がることがあるので、一定程度の距離を確保しなければならないという制約がある。

5. 協議事項

(1) 広域一般廃棄物処理施設建設候補地の選定について

(会長) ※資料 2 により説明

一番問題になるのは地域住民の合意形成であり、それが満点の 25 点である。それを踏まえて、熱海市候補地を建設候補地として選定してよいか、皆さんの意見を伺いたい。

(裾野市副市長) 候補地の上段のみを使用するという想定で評価されており、この評価ポイントを見る限り、一般廃棄物処理施設の建設用地として非常に優れていると感じている。

(長泉町副町長) 事務局から結果報告に沿った説明があったとおり、施設の候補地として非常に高い評価ということで、会長からの話もあったが、評価に値するものであると考えている。

(函南町副町長) 会長からも説明があったとおり、非常に高い評価になっている。一箇所だけ「△」の評価があるが、ピンポイントで候補地を調査した結果ではなく、それは今後の課題になるかと思うが、適合性が高い候補地であると感じている。

(熱海市副市長) 熱海市が出した候補地について、69.4 点という評価をいただいたことはありがたいと考えている。中でも「△」が付いているレッドデータブックの関係や、熱函道路で右折レーンがないことなど、県ともしっかりと検討していかなければならないと考えている。

(会長) それでは本日の議題ですが、選定委員会の評価結果報告のとおり、熱海市候補地を建設候補地として選定することよろしいか。

(各副市長・副町長) ※同意

(会長) それでは、熱海市候補地を建設候補地として選定する。

6. その他

(1) ごみ処理広域化に係る費用等の検討について

(事務局) ※資料 3、参考資料 1、参考資料 2 により説明

(会長) 自分が考えるポイントは三つあり、一つ目は建設費がどれくらい掛かるのか、二つ目は費用負担がごみ量割なのか、人口割なのか、均等割を入れるのか、三つ目は中継施設を建設するのか、建設しない場合は収集運搬費用を各市町が負担するのか、参加市町で分担するのか。これらを 12 月以降に合意することになると思われるが、ここまでの費用負担の説明で質疑や質問があれば伺いたい。

(函南町副町長) 今後、各市町が参加可否の検討に入っていく状況の中で、事務局の説明にもあったように、建設費等の増加が明らかに見込まれる。幹事会でも今の状況にあった費用見込みの試算をしていると思われるので、それらの情報を事務局から各市町に情報提供していただきたい。

(裾野市副市長) これから各市町が検討する中で、会長からもあったように、負担割合のルールが経済性を判断する上で重要になってくるので、どれくらいの時期に調整していくかを見せていただく必要があると思う。それによって最終的な判断をする時期がずれていく可能性が高いと思うので、その点をよろしく願いたい。

(熱海市副市長) 資料 3 の P1 に建設費や運営委託費等の概算額が記載されており、この金額は表 1 のケース 1、ケース 2、ケース 3 の中で、それぞれ最低額から最高額が示されていると思うが、例えば建設費の最高額で、三島市の 113 億円と裾野市の 56 億円、熱海市の 75 億円は、ケースが違うのではないかと思う。この情報をもう少し分解して、ケース 1 から 3 のそれぞれの場合の金額を各市町に提供していただきたい。

(事務局) それに関しては、令和 6 年度の可能性調査で、ケース 1、ケース 2、ケース 3 をそれぞれ示したものがある。

(会長) ここに一緒に記載されていないと分かりにくいので、一両日中に事務局から各市町に送付する。

(2) 今後のスケジュール

(事務局) ※資料 4 により説明

(会長) スケジュールの関係で、大変申し訳ないが、2 市 2 町にお願いがある。12 月末に各首長が参加の可否を判断することになっているが、本市では 12 月に市長選が行われ、任期が 12 月 20 日からになる。新しい市長になった場合、1 週間程度で判断するのは無理があるかと思うので、参加可否の判断を 1 月末にさせていただきたい。

(熱海市副市長) 1 月末にした場合、全体計画に影響が出るのか。

(事務局) 全体計画には影響がないように、令和 8 年度末の基本合意書締結を目指して進めるよう考えている。

(裾野市副市長) 裾野市としては、影響が出ないようにするのであれば構わない。

(函南町副町長) 当町としても問題ない。

(長泉町副町長) 協議会の締め切りとしては結構だと思う。

(会長) 各市町から了承いただいたので、参加可否の判断は 1 月末とする。

(長泉町副町長) 本日の協議会で建設候補地として熱海市の候補地が選定され、参加可否の判断が 1 月末に延長されたが、今後協議会を開催する予定はあるか。

(会長) 現在のところ、開催する予定はない。ただし、開催の要望があった場合、日程調整をする中で、書面開催を含めて開催する可能性はある。

(長泉町副町長) 事務局からの説明にあったように、選定委員会の評価結果報告書の中で、今回の候補地選定が広域化への参画に対して大きな影響を与えるという指摘があり、当然そのとおりだと思う。従来から幹事会でも話があったように、収集運搬の距離が非常に長くなることは、当町や裾野市、三島市にとって、非常に大きな影響になってくる。当町では、距離的には 4 倍、経費的には 2 倍以上掛かってくるのが算定として明らかになっている。そのような状況の中で、当町では単独での調査を実施してきたが、それらの結果を町民や議員に報告する中で、その部分を非常に懸念されている。今回、候補地が選定されたこの段階で、長泉町としては、この広域化への参画を見送らせていただくことの意味表明をさせていただきたいと思う。今後、建設費や収集運搬費なども含めて、様々な議論がなされると思われるが、そのような中、長泉町としては、現在の条件では広域化への

参画は難しいということを先に表明させていただくことで、各市町の今後の判断にご迷惑をお掛けしないよう、この段階で広域化への参画について見送らせていただければと思っている。

(会長) 収集運搬費のことなどは今後の協議もあるので、本日はそういうお話があったということは受けておくが、最終判断は今後の話し合いも含めて1月末ということとお願いする。

(長泉町副町長) 当町としても、ごみの問題は非常に大きな問題であり、町としての結論が出ている中で、引き続き協議を行っていくことは難しいと判断している。幹事会を含めた協議の中で、長泉町を外した2市2町による費用計算で協議していただきたい。

(会長) この協議会から脱会するという事か。

(長泉町副町長) はい。町としての判断と捉えていただいて結構です。

(会長) 会長の一存で、分かりました、お抜けください、とは言えない状況もあるので、先ほど申し上げたとおり、最終決定は1月末にしていっていただきたいと思う。今後、どのように状況が変わるとも限らないので、今日のところはお気持ちを伺っておくということで皆さんよろしいか。

(長泉町副町長) 会長がそこまでおっしゃるのであれば結構ですが、今後皆さんにご迷惑をお掛けするのは当町の本意ではなく、皆さんが広域化に参画するか否かの判断に影響があるので、今後協議会が開催されるかを確認させていただいた上で、この話をさせていただいた。

(裾野市副市長) 費用負担の割合の話として、輸送距離の増加に伴う費用負担や中継施設を整備することによる負担増があると思われるが、それらを全体で案分するという整備はありうるのか。

(会長) これから年末にかけて時間はあるので、費用をごみ量割にするのか、人口割にするのかなど、皆さんの合意をとって決めていくものであり、売電収入をどうするかなども、皆さんと詰めていく問題であると思っている。

(函南町副町長) 検討協議会は今回が最後ということであるが、建設費や負担割合などの諸課題について、引き続き幹事会で資料提供や情報交換といった検討がされると思われる。副首長の段階でも検討し、逐次首長に報告しているとは思いますが、県によるマスタープラン策定以降、首長同士の顔合わせは一度だけであり、最終的に首長が判断する前に、各種情報や資料が整理できた段階で、最終的な判断材料としての資料等を提示していただき、首長が一堂に会した最終的な会議を開催していただくとありがたい。

(会長) 3市2町の首長が一堂に会して、これまでの経過や今後の費用負担のこと、事務局の考えを説明して欲しいという要望ですが、私は基本的に副首長が首長に説明するものであると考えていた。皆さんはどう考えるか。

(熱海市副市長) 内容については、時点時点においてしっかりと市長に説明しているので、特段最終判断をするにおいて、改めて首長が集まる必要はないと考えている。また、三島市長選の話があったが、当市でも9月に市長選があるので、なかなか時間が取れないかと思われる。内容は逐次しっかりと市長に説明しているので、

判断材料については特に問題ないと考えている。

(会長) 最終決定の前ということなので、年明け早々ぐらいかと思うが、3市2町の首長の日程を合わせるのはかなりハードルが高く、夜間や早朝でないと難しいのではないか。どうしてもということであれば、必要がある市町には、事務局が首長のところに出向いて説明するというところでどうか。

(函南町副町長) この協議会が始まる前、県の広域化マスタープランができて、1回顔合わせがあったが、その後は1回もないと町長から言われている。消防の広域化の時は県が主導で、首長を集めてから会議が始まった。それと比べると、首長が顔を合わせる機会がなく、直接話ができない状況であった。今回、建設候補地の選定ができたのであれば、最終判断をする前に、一度首長が顔を合わせる機会を作ってもらった方がいいのではと言われているので提案させていただいた。

(会長) うまく調整できるか、この場では確約できないので、私に預けていただきたい。皆さんには、結果を報告させていただく。

(3) 事務連絡

(事務局) 本日の協議により熱海市が建設候補地に選定され、選定結果は公表することになっているため、各市町において速やかに公表の手続きをお願いしたい。

7. 閉会

以上